

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和6年2月9日	
市役所 302 会議室	

令和5年度 第4回  
立川市在宅医療・介護連携推進協議会  
協 議 資 料

令和6年2月9日（金）

立川市 福祉保健部 高齢福祉課

報告事項①

在宅医療・介護サービス資源マップについて															
経緯	<p>立川市では国が掲げた在宅医療・介護連携推進事業の事業項目である「地域の医療・介護の資源の把握」の取り組みとして、平成 29 年度に医療・介護事業所へアンケート調査を行い、「在宅医療・介護資源マップ」を作成して、立川市ホームページに公開した。</p>														
経過	<p>■平成 29 年度 10 月 紙版作成。65 歳以上の市民がいる世帯へ全戸郵送。 また窓口・イベント配布実施。 11 月 電子版を市ホームページ上に掲載。</p> <p>■平成 30 年度 3 月 立川・昭島・武蔵村山 3 市共用の運営となったことによる 電子版の画面が変化。</p> <p>■平成 31 年度 電子版の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーションの情報更新。</p> <p>■令和 2 年度、令和 3 年度 電子版の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所の 情報更新。</p> <p>■令和 4 年度、令和 5 年度 ・電子版の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所の 情報更新。 ・ 3 師会(医師・歯科医師・薬剤師)の情報を追加。</p>														
掲載件数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">在宅医療・介護資源</th> <th style="text-align: center;">掲載数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">医療施設</td> <td style="text-align: center;">119</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歯科</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">薬局</td> <td style="text-align: center;">79</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">訪問看護ステーション</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">介護系</td> <td style="text-align: center;">140</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">440</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和 6 年 1 月現在</p>	在宅医療・介護資源	掲載数	医療施設	119	歯科	85	薬局	79	訪問看護ステーション	17	介護系	140	合計	440
在宅医療・介護資源	掲載数														
医療施設	119														
歯科	85														
薬局	79														
訪問看護ステーション	17														
介護系	140														
合計	440														

報告事項②

令和5年度 東京都在宅療養支援窓口取組推進研修について	
目的	在宅療養支援窓口に求められている役割や、効果的取り組みについて理解してもらうことにより、各市町村療養窓口におけるより一層の取組推進を図る。
研修概要	<p>日時：令和6年1月17日（水曜日）午後1時から午後4時</p> <p>実施主体：東京都</p> <p>実施機関：公益社団法人東京都看護協会</p> <p>研修対象：在宅療養支援窓口担当者及び区市町村行政職員</p> <p>会場：東京都看護協会 会議室</p> <p>他：事前課題あり</p> <p>立川市参加者：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携窓口担当：國重智美</li> <li>・行政職員：高齢福祉課介護予防推進係 上菌とも恵</li> </ul>
研修内容	<p>1、事前課題について報告</p> <p style="padding-left: 20px;">設問1 在宅療養支援窓口に寄せられた各種相談について、分析等を行っているか。</p> <p style="padding-left: 20px;">設問2 自治体の相談窓口業務について、力を入れている取組や特徴的な取組について</p> <p style="padding-left: 20px;">設問3 相談事例のうち、どんな内容での対応の困難さを感じるか。</p> <p>2、【講義】相談ケースの分析からの課題解決へつなげる取り組み</p> <p style="padding-left: 20px;">西東京市 在宅療養連携支援センター「にしのわ」</p> <p style="padding-left: 40px;">センター長 古澤 香織</p> <p style="padding-left: 20px;">【講義】精神疾患関連勉強会の企画と実施について</p> <p style="padding-left: 20px;">武蔵村山市 在宅医療・介護連携支援センター</p> <p style="padding-left: 40px;">センター長 内田 早苗</p> <p>3、事例を用いたグループワーク</p>

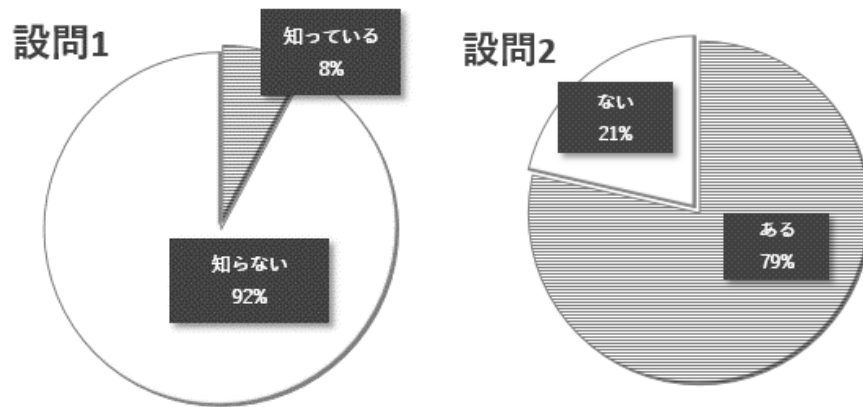
報告事項③

地区健康フェアにおける「ACP」意識調査について																																																																																									
目的	<p>高齢者が増加している中、将来の医療ケアの希望についてどれくらいの市民が考えているのかを明らかにするため、地区健康フェアの参加を対象に意識調査を行う事で「ACP」という言葉の認知度を把握して、今後の普及啓発の在り方を考察する。</p>																																																																																								
調査方法	<p>各地区健康フェアにて、来場者が男女別で2つの設問について、シールアンケートにて回答していただいた。</p> <p>設問：設問1 ACP（人生会議）という言葉を知っていますか？            設問2 人生の終わり方を考えたことがありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートと同時に、立川市のエンディングノートや、私と家族の終活便利帳、わたしの思い手帳等を配布した地区もあった。</li> </ul> <p>※2月開催予定の健康フェアについては、開催時にアンケートを実施予定。</p>																																																																																								
調査結果	<p>調査結果：対象10地区</p> <p>設問1 ACP（人生会議）という言葉を知っていますか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">地区</th> <th rowspan="2">全体人数</th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> </tr> <tr> <th>知っている</th> <th>知らない</th> <th>知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>富士見</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>柴崎</td> <td>48</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>錦</td> <td>29</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>曙</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>高松</td> <td>59</td> <td>1</td> <td>23</td> <td>3</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>栄</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>若葉</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>柏</td> <td>32</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>砂川</td> <td>57</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>西砂</td> <td>38</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>396</td> <td>12</td> <td>116</td> <td>19</td> <td>249</td> </tr> </tbody> </table>		地区	全体人数	男性		女性		知っている	知らない	知っている	知らない	1	富士見	31	1	13	0	17	2	柴崎	48	2	18	4	24	3	錦	29	3	12	0	14	4	曙	35	0	6	2	27	5	高松	59	1	23	3	32	6	栄	36	0	11	4	21	7	若葉	31	1	10	2	18	8	柏	32	3	6	1	22	9	砂川	57	1	10	2	44	10	西砂	38	0	7	1	30		合計	396	12	116	19	249
	地区				全体人数	男性		女性																																																																																	
		知っている	知らない	知っている		知らない																																																																																			
1	富士見	31	1	13	0	17																																																																																			
2	柴崎	48	2	18	4	24																																																																																			
3	錦	29	3	12	0	14																																																																																			
4	曙	35	0	6	2	27																																																																																			
5	高松	59	1	23	3	32																																																																																			
6	栄	36	0	11	4	21																																																																																			
7	若葉	31	1	10	2	18																																																																																			
8	柏	32	3	6	1	22																																																																																			
9	砂川	57	1	10	2	44																																																																																			
10	西砂	38	0	7	1	30																																																																																			
	合計	396	12	116	19	249																																																																																			

設問2 人生の終わり方について考えたことがありますか？

	地区	全体人数	男性		女性	
			ある	ない	ある	ない
1	富士見	31	10	4	14	3
2	柴崎	48	15	5	23	5
3	錦	29	11	4	14	0
4	曙	35	5	1	24	5
5	高松	59	15	9	31	4
6	栄	36	6	5	22	3
7	若葉	31	5	6	17	3
8	柏	32	7	2	19	4
9	砂川	57	7	4	34	12
10	西砂	38	4	3	28	3
	合計	396	85	43	226	42

男女合計	設問1		設問2	
	知っている	知らない	ある	ない
	31	365	311	85



考察

設問1については、男女ともに「知らない」という回答が多く、ACP という言葉の普及がされていない現状が明らかになった。なかには、「英語、横文字はわかりにくい」というような意見も寄せられており、立川市版のACPを検討していく必要を感じた。

一方で、設問2については、「事前に考えたことがある」方が過半数を占め、各自が何かしらの準備をしている様子うかがわれた。今回の調査で、具体的にどのような準備をしているのかまで確認することはできなかったため、次年度以降の課題として、調査方法を検討していきたい。

報告事項④

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について	
高齢者の 保健事業と 介護予防の 一体的実施	<p>高齢者の特性に応じた保健事業と介護予防事業を一体的に実施すること、また、国民健康保険の保健事業と後期高齢者医療の保健事業との連続性を確保することを目的として、国の目標で令和6年度までの全市区町村での実施が求められているもの。事業内容としては、アウトリーチを重視した個別支援（ハイリスクアプローチ）と通いの場等への介入（ポピュレーションアプローチ）がある。</p> <p>国は国保データベース（KDB）システムを積極的に活用した保健事業を推進しており、本件においても国の交付金交付条件として、KDBシステムの活用が必須となっている。</p> <p>立川市における事業実施に向け検討を重ね、令和6年度から実施する事業内容が「報告事項④別紙1，2」のとおりまとまった。</p>

報告事項⑤

市民フォーラムについて	
目的・内容	<p>■目的 市民がアドバンス・ケア・プランニング及び看取りについての理解を深めるとともに、適切な医療や介護を受けるためのヘルスリテラシーについて理解を深める。</p> <p>■内容 映画上映とパネルディスカッションを行う</p>
概要	<p>日時：令和6年3月23日(土) 時間：13:30～16:45(13:00 受付開始) 定員：調整中 対象：立川市民 場所：女性センターアイムホール 講師：調整中</p>

報告事項⑥

令和6年度 在宅医療・介護連携推進協議会 日程			
日時・会場	第1回	令和6年5月31日(金)	13:30～15:00 302 会議室
	第2回	令和6年8月9日(金)	13:30～15:00 101 会議室
	第3回	令和6年11月22日(金)	13:30～15:00 302 会議室
	第4回	令和7年2月14日(金)	13:30～15:00 302 会議室

「立川市高齢者福祉介護計画」策定について	
内容	<p>&lt;基本理念&gt; 「個人の尊厳を大切にし、人と人がつながり、住み慣れた立川で、その人らしい生活ができるまちづくり」</p> <p>&lt;基本目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの人生設計を全うできるまちづくり (0次予防の推進)</li> <li>2. 認知症になっても、そうでない人も、ともに暮らせるまちづくり (ゆるやかなつながりづくり)</li> <li>3. 相談からサービスにつながるまちづくり (相談体制の充実、生活支援サービス、一般施策、介護サービスの利用)</li> <li>4. より良い介護サービスが受けられるまちづくり (持続可能な介護保険事業と適正な運営)</li> </ol> <p>&lt;在宅医療介護連携推進事業の主な施策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業の推進 (基本目標 1-1) <ul style="list-style-type: none"> <li><u>(1) 0次予防の推進◎ (P. 76)</u></li> <li>(2) 一般介護予防事業の推進 (P. 78)</li> <li>(3) 健康づくり活動の支援 (P. 78)</li> <li><u>(4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進◎ (P. 79)</u></li> <li><u>(5) 民間企業との連携による介護予防の推進◎ (P. 79)</u></li> </ul> </li> <li>・在宅医療と介護の連携の推進 (基本目標 1-10) <ul style="list-style-type: none"> <li>(34) 医療と介護資源の情報提供体制の構築 (P. 96)</li> <li>(35) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の整備 (P. 97)</li> <li>(36) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (P. 98)</li> <li><u>(37) 在宅医療と介護連携に関する普及啓発◎ (P. 99)</u></li> <li><u>(38) 夜間緊急時対応等の24時間診療体制の構築◎ (P. 100)</u></li> </ul> </li> <li>・認知症予防の推進 (基本目標 2-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>(39) 認知症の予防や早期発見への取組 (P. 103)</li> </ul> </li> <li>・認知症の人との共生 (基本目標 2-2) <ul style="list-style-type: none"> <li>(40) 認知症への理解を深めるための取組 (P. 104)</li> <li>(41) 認知症の人やその家族への支援 (P. 105)</li> <li>(42) 認知症支援のための関係機関との連携 (P. 106)</li> <li><u>(43) 地域で支える認知症への取り組み◎ (P. 107)</u></li> </ul> </li> </ul>



■策定スケジュール

日程	
令和5年 4月22日	第1回介護保険運営協議会（全6回）
5月19日	第1回在宅医療介護連携推進協議会
～7月下旬	施策の方向性・取組内容の検討
8月4日	第2回在宅医療介護連携推進協議会
～9月下旬	計画の素案作成
11月24日	第3回在宅医療介護連携推進協議会
～11月下旬	計画の原案作成
12月2日	第4回介護保険運営協議会
12月12日	立川市市議会 厚生産業委員会
12月14日	パブリックコメントの開始（令和6年1月9日まで）
令和6年 1月9日	第6回計画策定等調査検討会
1月17日	第5回介護保険運営協議会
2月6日	第6回介護保険運営協議会
<b>2月9日</b>	<b>第4回在宅医療介護連携推進協議会</b>
2月中	市内3か所において、計画（原案）に対する地域説明会 （2/17 西砂学習館、2/20 たましん RISURU ホール、2/25 市役所 を予定）
3月5日	立川市市議会 厚生産業委員会

報告事項⑧

認知症サポーターキャラバン令和5年度 表彰式・報告会 立川市受賞について	
内容	<p>全国の認知症に関する取組の最新情報を共有するために、毎年全国キャラバン・メイト連絡協議会では、「認知症サポーターキャラバン 表彰式・報告会」を開催している。</p> <p>今回、認知症サポーター優良活動事例に23件の応募があり、選考委員において選考を行った結果、<u>「認知症サポーターの活動事例」として、立川市の事例が「優秀賞」に選ばれた。</u></p>
表彰式	<p>日程：令和6年2月17日（土曜日）</p> <p>会場：砂防会館（東京都千代田区平河町2-7-4 最寄り駅永田駅）</p>
立川市事例 概要	<p>令和2年度から毎年、立川市内全小学校19校の小学4年生を対象に、認知症サポーター養成講座を実施している。また、実際の認知症サポーター養成講座では、認知症サポーターステップアップ修了生にもご協力いただき、高齢者視点での生活のことや、認知症の方への対応として、ロールプレイの中で認知症高齢者役として参加いただいている。</p> <p>令和4年度には認知症サポーター養成講座を受講した児童5名が、道に迷っていた認知症高齢者に優しく声をかけてくれた。その様子に、地域包括支援センターの職員が気づき、認知症の高齢者の方は、無事自宅に戻ることができた。児童たちにお礼を伝えたところ、「僕たち認知症サポーターだから！！」と誇らしげに話してくれたエピソードがあり、児童5名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p>